

「石見の火山が伝える悠久の歴史」のストーリーは火山のめぐみが大田市の歴史文化と深く関わっていることを語るもので、日本列島が生まれた時代の火山が作り、「鬼」伝承が伝わる鬼岩は構成文化財の一つです。

## 鬼 岩

島根県大田市大屋町鬼村にある「鬼岩」は、異形の姿が目を引き、鬼の伝承が伝わる巨岩です。静間川の支流、笹川左岸の市道沿いにこつぜんとそびえる岩は、高さ約15m、幅は南北約15m、東西約5mあり、傘のように上部がひろがる形と側面に並ぶ穴が特徴です。



地域の象徴として、また信仰の対象でもあり、自然の作用によって出来た穴に地蔵や観音像がまつられています。

### 島根県天然記念物「鬼村の鬼岩」

鬼岩にいくつもある穴は、風食作用（塩類風化）によって形成されたものです。海岸から離れた山あいでも明瞭な塩類風化が見られることは珍しいことから、2007年に島根県の天然記念物に指定されました。



## おに むら 鬼 村

「鬼」の名がつく珍しい地名の「鬼村」は、全国でただ一つです。

その由来は諸説あるものの、よく語られるのは次の説です。

- ① 修験者がかつて居住をし、地区の開発に貢献した。また、修験者がこの岩場を霊場とし、この地を祖霊化する働きになった。
- ② 修験者が多く行き来する修験道のルートで、修行の場となっていた。この岩で修行する、いかつい無精ひげの顔の修験者を鬼のような姿に見たて、「鬼の群れが住んでいる里」から「鬼群れ」と呼ぶようになり、鬼村に転じた。
- ③ 「鬼岩」があったことから「鬼村」と呼ぶようになった。



〒694-0033  
島根県大田市大屋町大田2903-1

**大屋まちづくりセンター**  
**ふるさとおにむらづくり実行委員会**

電話・FAX 0854-82-5580  
<https://www.ohyamjh.com>

おに いわ  
鬼 岩

